

項目番号	掲載ページ	章番号	検討事項	指摘した部会員	対応状況
1	20	2章	●標本誤差と回答比率の表の回答比率左から2番目の45%55%とは何か、説明がないのでわからない。	豊田部会員	文章をわかりやすく簡潔な文章に改め、標本誤差についてのコラムを追加致しました。
2		2 章	●標本誤差について、標本誤差について、もう少し優しい文章にならないか。日本語で平易にこういうふうな感じでだから統計的には正しいですだけ書いてしまうのか、ここまで書くんだったら書く以上は全部ちゃんと内容がわかるように解説してくれるのかとこっちの方がいい。	水野部会員	
3	31, 32	3 章	●全体目標案について ・全体目標の案が市民目線になっていない。 ・がんの正しい知識を持っている市民はほとんどいない。それをどう知らしめるのか、という問題がある。 ・市民一人ひとりが、というところが難しい。 ・市民目線まで落とすのにはどうしたらよいか、という観点でもう一工夫がいる。 ・市民目線と医療従事者者目線と両方が必要、目標を別々に立てると最後に評価しやすいのでは。 ・心に響いてこない。興味を持ってくれるような文がいい。まじめすぎる。わくわく感がない。読んでみようかなと思わない。インパクトがない。市民に腹落ちしてほしい。 ・実行部隊が最後の評価をどのようにするのか。重い課題だし、具現化するためにもう1つ深掘りが必要。 ・市が旗を振り、市・住民・医療者側のやるべきことがわかるようになると理解しやすい。 ・正しい知識をどの年代を対象に何を教えるかということ由市や医療従事者が考えて選択すると市民が受け入れられる範囲の知識になる。そのような書き方がよい。 ・全体目標の前提として、分野別目標に「何のために」という考え方がはいるといい。 ・市民が正しい知識を持つように市はこういう風に対策をするという風に書き換えるのはどうか。 ・全体目標の言葉に主語をつけたほうがよい。 ・横須賀市らしさがほしい。 ・市民に必要な知識を市側が用意して、それを子どもたちから受けられる機会を用意する、市民の方はそれを受ける努力をするということではないか。そういうことがわかりやすく書かれると、市民の方も目を向けてくれるのでは。 ・横須賀市は家庭の医療とかいわゆる在宅医療が盛ん。その辺を上手く、行政と医療者と市民と腕を組んめというようにことがわかるような書き方をすると横須賀らしさが出る。	土屋部会員 豊田部会員 寛部会員 谷村部会員 芳賀部会員 水野部会員	修正案を作成し、8月30日に部会員各位にメールでご確認をお願いしました。 いただいたご意見を元に再訂正致しました。 ご意見いただき、ありがとうございました。
4	42-43	4 章 1（1）	●たばこ 心臓病とか肺、例えば肺気腫とか間質性肺炎となるとほとんどの方が関係するので、これを書いていただきたい。	土屋部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
5	42-43	4 章 1（1）	●たばこ ・改正健康増進法は実際にはあまり効果がない。厳しい指摘になるが、「国の法律や、県の条例が遵守されるよう」と書いてあるが、まだまだだ。「いつまでに」「誰が」「どのようなことを」「どうする」まで示してほしい。 ・禁煙マークの付近で喫っている人をなんとかしてほしい。中高年の男性が注意するより、女性や子どもが注意する方が聞いてくれるようだが、夜の街に子どもを連れて行くわけにもいかない。 ・昼間子どもがいる場所での禁煙を徹底する方法も考える必要がある。 ・禁煙に対して、学校教育など子どもからきっかけをつくる取組を検討できないか。子どもが親の喫煙を止める、そういうきっかけを行政で何か作る。子供の時代からきちんと教えることが大切。 ・道路の禁煙マークをもっと増やしてほしい。	土屋部会員 寛部会員	健康増進計画担当課に現状を確認しましたので、専門部会で報告いたします。 また、コラムを追加作成いたしました。
6	46	4 章 1（2）	●表（胃がんリスク検診） 陰性者と陽性者について、おそらくイーブンのうちの陰性高値をどっちにわけているのではないか。陰性高値は未把握の人たちが必ずるので、プラスとマイナスがこんなにきれいにわかれるのはおかしい。	水野部会員	水野部会員にご指導いただき、訂正致しました。 ご指摘いただき、ありがとうございました。
7	48-51	4 章 1（2）	●感染予防（ピロリ） 見出し番号の整理が必要。	豊田部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
8	53	4 章 1（2）	●グラフ（HPVワクチン接種率）算出方法が国、県、市で異なるので、確認が必要。	水野部会員	ご指摘いただき、ありがとうございました。より新しいデータ（WHO/UNICEF 2021年）に更新しました。 接種率は、下記方法により求められています。 WHOの接種率＝最終接種を終えた人数/その年15歳になる人口数 （接種対象年齢は世界では9-14歳になる） なお、市の算出方法は下記のようになります。 横須賀市の接種率＝1回目の接種をした人数/その年度の中1女子数
9	51	4 章 1（2）	●中学2年のピロリ菌対策事業のところに、「若年で除菌をすればするほどがんになる可能性が下がる」という、実施している意味合いを書いていたかとよい。	水野部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
10	46-55 103-107	4 章 1（2）	●がん経験者、外部講師等、市内の先生方でできる方がいっぱいいる。教育委員会と協力してやっていくと、大してお金をかけずに受診率を上げることができるのではないかと思うので、ぜひそういう工夫をしてほしい。具体策を入れると効果的だと思う。日本をリードするような市になってほしい。	土屋部会員	健康増進課、保健体育課へがん教育の取り組みについて、確認しました。 専門部会で報告いたします。
11	58	4章 2	●検診受診率がなかなか増えない。胸部以外が10%を超えない。	土屋部会員	受診率向上についての取り組みについて、文面を整理いたしました。 また、国が掲げる目標受診率との乖離について、コラムを作成しました。
12	72	4 章 3	●地域がん診療連携拠点病院の横須賀市内の病院として具体的に共済病院のホームページの案内を入れた方がよい。がん医療は、退院後も続く。近くで受けた方がよい。	土屋部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
13	全体	全体	●二次元コードが使えない、スマホを持たない方のための補完的な情報や配布場所を示すなど工夫をした方がよい。	谷村部会員	計画全体を見直しし、掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
14	79	4 章 3	●県立こども医療センターの案内に二次元コードのほか、TELやFAXを記載したほうがよい。	土屋部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
15	85	4 章 4	●横須賀共済病院もピアサポーターを毎週やっていて、院内患者に限っていないので、掲載OKです。	豊田部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
16	87	4章 4	●就労支援について、横浜のハローワークや厚労省ではなく、身近な相談先として横須賀のハローワークを掲載し、いつでも相談できることを記載してほしい。	芳賀部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
17	95, 97	4 章 4	●「痛みのコントロール」という表記を、市民目線で「症状を和らげる治療」のような表記に変更したらどうか。	谷村部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
18	97, 99	4 章 4	●ホスピス（緩和ケア病棟）を緩和ケア病棟（ホスピス）と逆にとすると、病院の表記と一緒にになるのでよいのではないか。	谷村部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
19	95-101	4 章 4	●「終末期」と「ターミナル期」が混在しているので、統一したほうがよい。 市民になじみのあるのは「終末期」である。	谷村部会員 寛部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
20	83, 97, 99, 116	4 章 4	●衣笠病院の相談先について、地域連携室でよいか、確認が必要。	谷村部会員	掲載内容の記載でよろしいでしょうか。ご確認くださいませよう、お願いいたします。
21	101	4 章 4	●「在宅支援薬局ネットワーク」に薬剤師会ホームページにある訪問可能な薬局の一覧がある。相談のある人はまずそれを見て、解決しなかった人が電話する、という流れにしてほしい。	堀江部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
22	90, 91	4 章 4	●ヤングケアラー対策を盛り込んでほしい。	鈴木部会員	掲載内容を訂正しました。 また、コラムを追加いたしましたので、ご確認くださいませよう願いたします。
23	全体	全体	●既出の案内でもできるだけ掲載してほしい。	水野部会員	計画全体を見直しし、掲載内容を訂正しました。 ご指摘いただき、ありがとうございました。
24	84, 106	4 章 4	●がんに関する知識の普及啓発に、神奈川県がん患者団体連合会など大人に対してのがんの知識の啓発や、神奈川県防がんマップの記載があるとうい。	鈴木部会員	防がんマップ、民間団体などの情報を追加しました。 ご指摘いただき、ありがとうございました。
25	108	4 章 4	●ピロリ菌関連の普及啓発について動画をU-tubeで公開しているので、動画の周知は〇でよい。	水野部会員	掲載内容を訂正しました。ご指摘いただき、ありがとうございました。
26	全体	全体	●普及啓発について 横須賀市ならではの情報をもっとあるとうい。	豊田部会員	横須賀市のみ情報では内容が薄くなるところもあるため、がんになった市民に役立つ内容のみを収録した概要版を作成予定です。専門部会で内容案を提示いたします。
27			●治療は外来化されている。外来の患者のサポートができるようになると良い。	豊田部会員	
28			●県のがんサポートブックの横須賀版のようなものができるとよい。それが手に取れる場所においてあり、相談は横須賀共済病院に行けばまとまった情報も患者同士の話もできる、というのが理想である。	鈴木部会員	
29	96100 他	4 章 4	●医師会の関与の記載が少ない。在宅診療などの面の記載を増やしてほしいとか。 訪問看護、在宅支援等がもっと加わってもよいと思う。	土屋部会員	横須賀市医師会事務局に依頼し、内容を確認いただき、表記について訂正を指摘いただきました。 内容については現計画案に記載されている内容で良いとの回答をいただきました。 医師会の協力については、在宅療養支援、多職種連携の部分に記載されている内容のほか、検診やピロリ菌対策事業の部分にも記載しています。
30	85, 106	4 章 4	●がん患者団体連合会のほか、民間でもがんに関する知識の啓発をしている民間団体もいくつかもある。そういう情報も載せたらよい。	鈴木部会員	Nico.yokosukaとやすらぎの会について掲載しました。 また、民間団体の案内を追加いたしましたので、ご確認ください。
31	その他	その他	●高齢者等、紙で計画などを見たい人のための周知はどのようか。	寛部会員	計画は各行政センター、市政情報コーナーに配架するほか、概要版は市内医療機関にも配布予定です。 ホームページでその旨周知します。
32			●法務省のすべてインターネットで法律が見られるような形がよい。必要な部分のみ、とか概要版のみプリントアウトできるようにしていると使いやすい。	土屋部会員	現在、専門部会の報告、現在のがん対策推進計画、がん克服条例をホームページに掲載しています。今後、より充実した内容になるよう、ホームページを改編して参ります。
33			●病院に配布し、がんの診断を受けた人には渡すようにしたらよい。	谷村部会員	ご提案ありがとうございます。計画概要版を横須賀共済病院、衣笠病院、うわまち病院、横須賀市民病院、浦賀病院へ配布依頼をしてがんの診断を受けた人に渡してくださるようお願いする予定です。
34			●表紙から困った時に使える情報がたくさんあること、見てみる気になる仕掛けをしてほしい。	谷村部会員	計画案の表紙デザインができましたので、ご確認ください。計画案にはコラムもいくつか追加しました。
35	84		●がん対策情報センターの冊子等よい資料があるので、一般的なことはそれを活用すればよい。横須賀特有なものをまとめたものを作ると良い。	土屋部会員	情報提供の資料として活用いたします。ご教示いただき、ありがとうございました。がん情報センターの案内を追加しました。